

# ランドクルーザー300 モデルスタ バージョン

フェンダーガーニッシュ 取付要領書 品番：MSD15-60001-XX  
品番：MSD15-60002-NP

設定型式：VJA300W-GNUZZ/FJA300W-GMUZY 設定グレード：ZX

このたびは、モデルスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フェンダーガーニッシュの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。


**!** **注意** フロントスポイラー（MSD41-60001-XX/2-NP）・リヤスカート（MSD43-60001-XX/2-NP）を同時装着する場合は、必ずフェンダーガーニッシュ（MSD15-60001-XX/2-NP）を先に取り付けてください。

## 取り付け上の注意事項

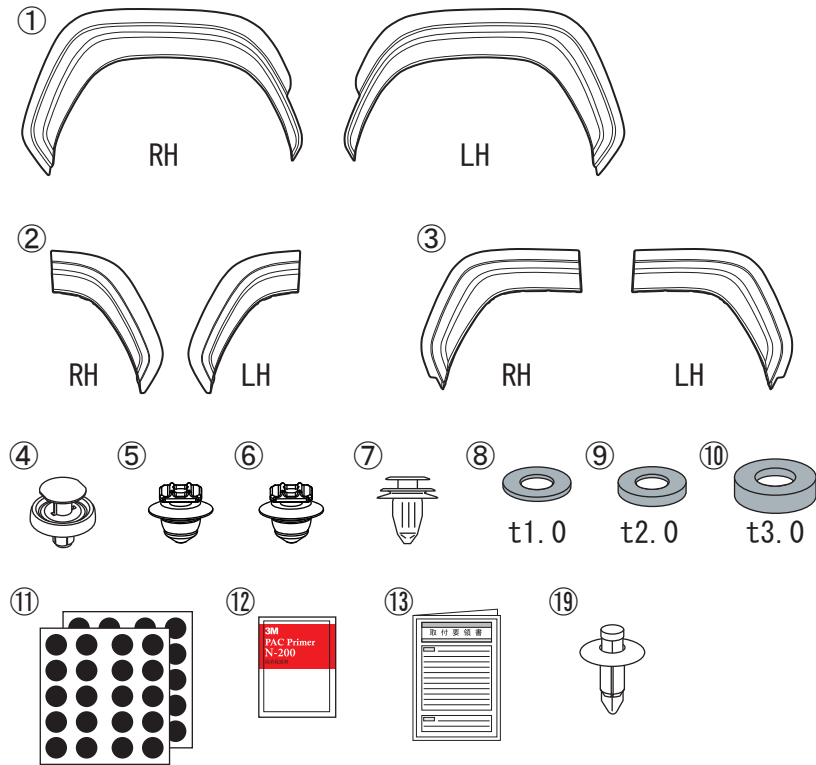
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- フェンダーガーニッシュを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- (重要)** ■ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。（PACプライマーN-200を本品に添付）  
プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- (重要)** ■ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、IPA等で拭き取ってください。
- (重要)** ■ 両面テープの圧着を十分に行ってください。49N（5kgf）以上

## 取り付け完了後の点検・注意事項

- フェンダーガーニッシュが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、フェンダーガーニッシュ及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。（両面テープの剥がれ、車両とフェンダーガーニッシュとの間に隙間が発生するおそれがあります。）
- 本品は一部両面テープで取り付けを行なっています。給油時に燃料が両面テープに掛かりますとハガレの原因になりますので、燃料が吹きこぼれた場合は速やかに拭き取り、水等を掛けてください。

 **アドバイス**…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

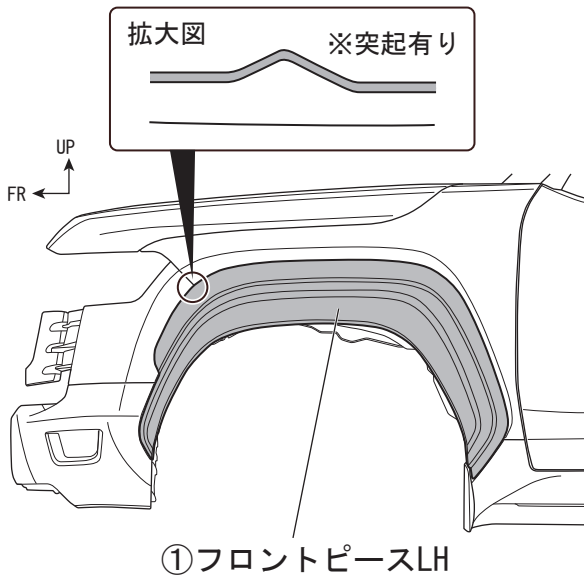


No.	品名	個数
①	フロントピース (RH/LH)	各1
②	リアドアピース (RH/LH)	各1
③	リアフェンダーピース (RH/LH)	各1
④	クリップA	4
⑤	トリムクリップA(赤小)	2
⑥	トリムクリップB(白)	2
⑦	トリムクリップC(赤大)	2
⑧	ラバーワッシャーA	2
⑨	ラバーワッシャーB	2
⑩	ラバーワッシャーC	2
⑪	保護シール	40
⑫	PACプライマーN-200	1
⑬	取付要領書	1
⑰	クリップB	4

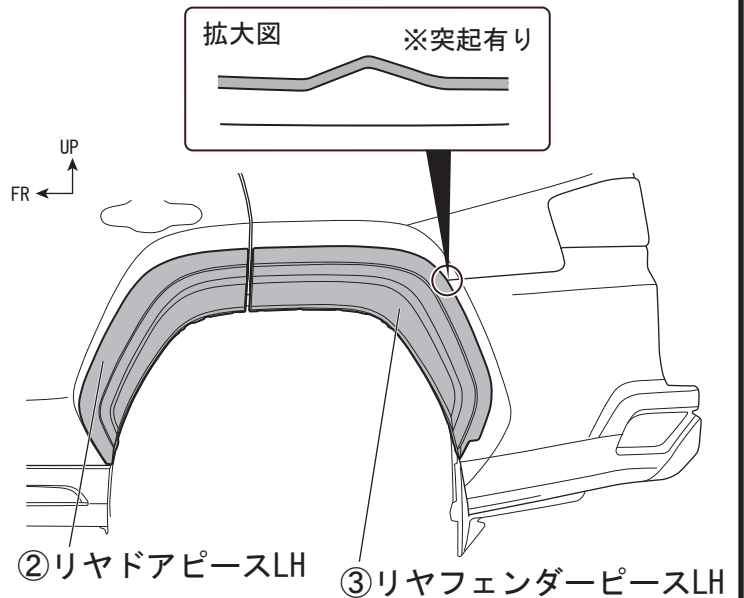
取付概要

※LH図示

[フロント]



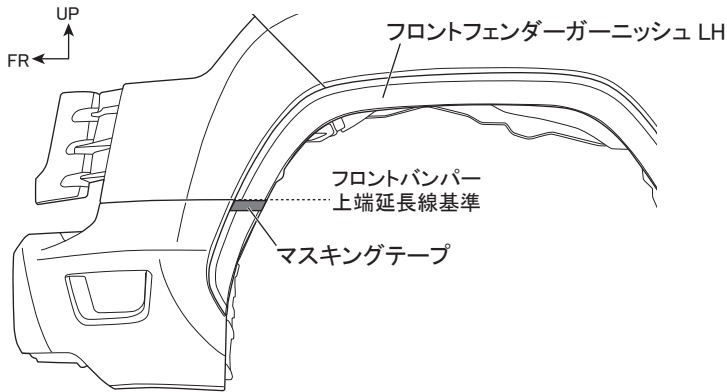
[リヤ]



# 取付手順

## I. 取付準備

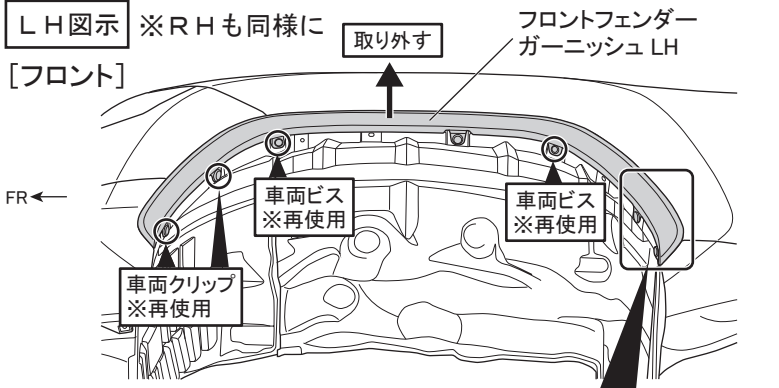
LH図示 ※RHも同様に



1. フロントバンパー上端の延長線上に合わせて車両フロントフェンダーガーニッシュにマスキングテープを貼り付ける。(左右各1ヶ所)

LH図示 ※RHも同様に

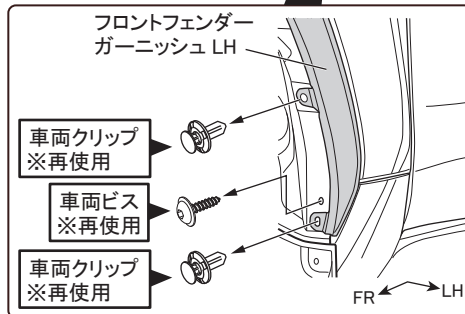
[フロント]



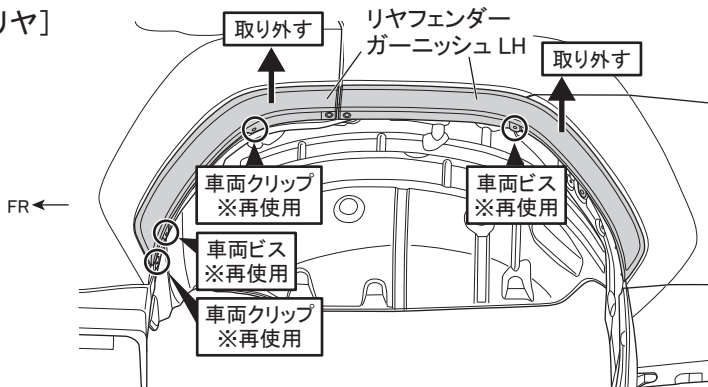
2. 車両からフロント、リヤフェンダーガーニッシュを取り外す。

### アドバイス

- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照してください。
- ・取り外した車両クリップ、ビスは一部再使用しますので紛失しない様、ご注意ください。
- ・車両フェンダーガーニッシュのトリムクリップが車両側に残っている場合は、全て取り外してください。

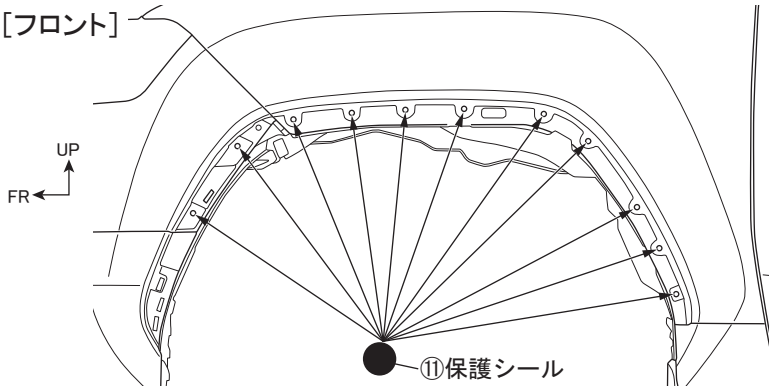


[リヤ]

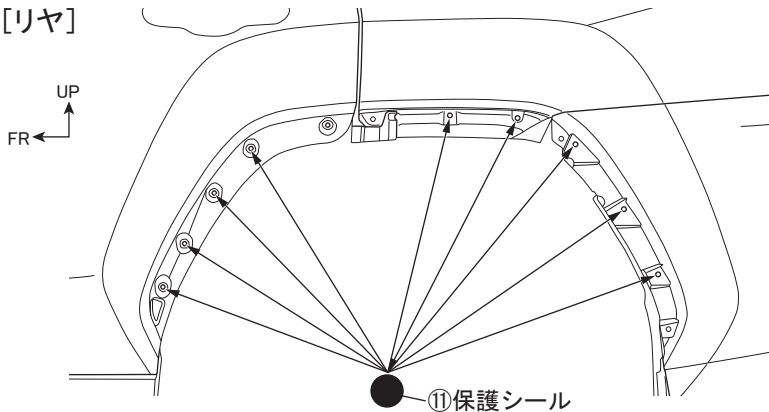


LH図示 ※RHも同様に

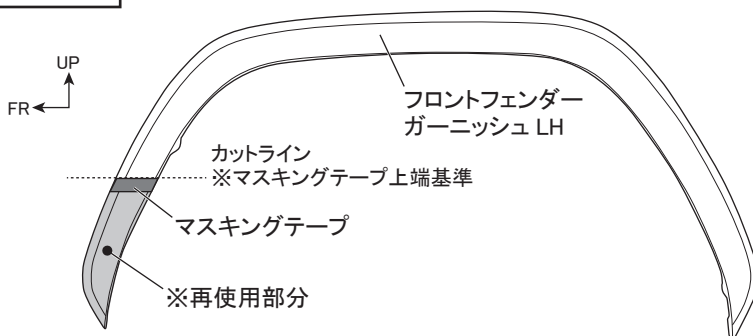
[フロント]



[リヤ]

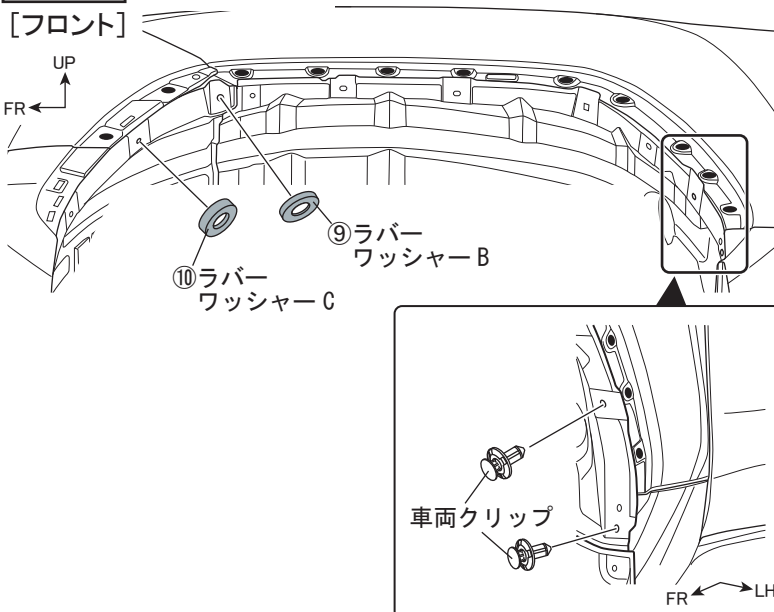


LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に

[フロント]



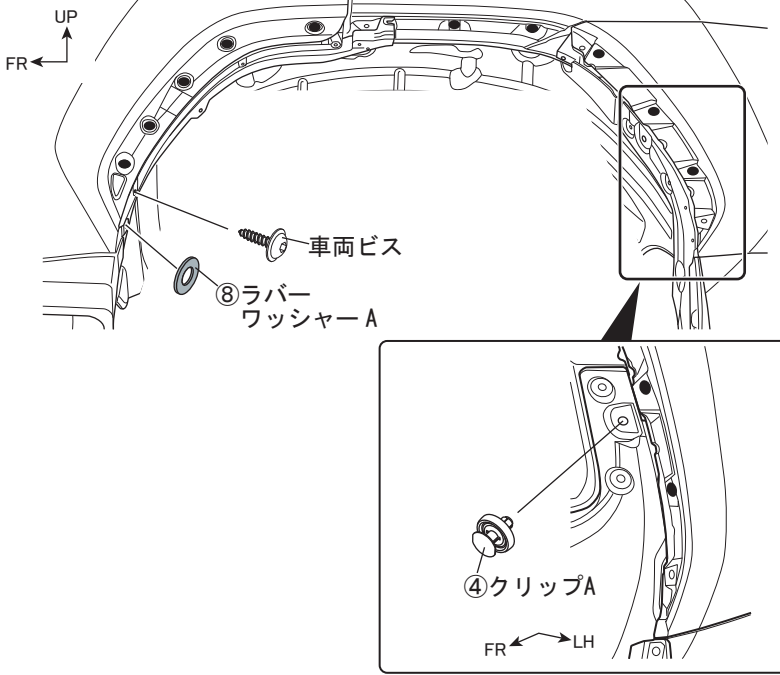
3. 車両側面のフロント、リヤフェンダーガーニッシュのクリップ穴周囲を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、⑪保護シールを貼り付ける。  
(フロント：左右各11ヶ所)  
(リヤ：左右各9ヶ所)

4. I-2で取り外した車両フロントフェンダーガーニッシュのマスキングテープに合わせて切除加工する。(左右各1ヶ所)  
切除後、切除部周囲のバリを除去し、マスキングテープを剥がす。

5. フロントフェンダーガーニッシュを取り外した車両図示部に車両クリップ (左右各2ヶ所) ⑨ラバーワッシャーB (左右各1ヶ所)、⑩ラバーワッシャーC (左右各1ヶ所) を取り付ける。  
※ラバーワッシャー取り付けの際は、車両貼り付け部を脱脂し、ラバーワッシャーの離型紙を剥がしてください。

LH図示 ※RHも同様に

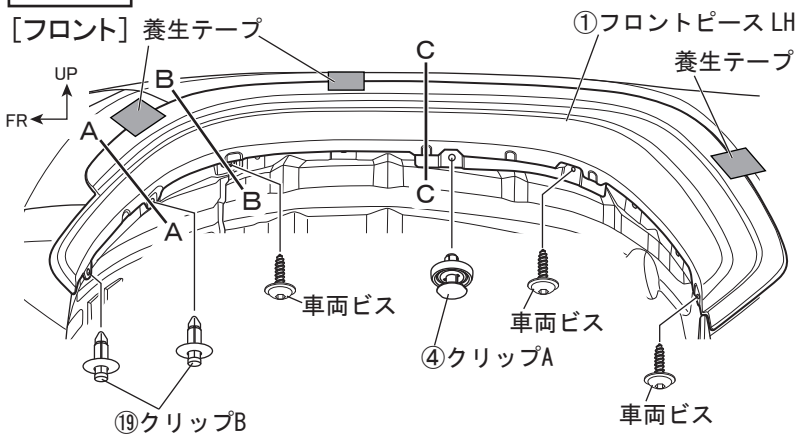
[リヤ]



6. リヤフェンダーガーニッシュを取り外した車両締結部に④クリップA (左右各1ヶ所)、⑧ラバーワッシャーA (左右各1ヶ所)、車両ビス (左右各1ヶ所) を取り付ける。  
 ※ラバーワッシャー取り付けの際は、車両貼り付け部を脱脂し、ラバーワッシャーの離型紙を剥がしてください。

LH図示 ※RHも同様に

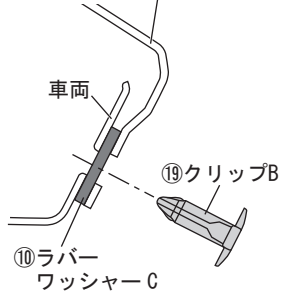
[フロント]



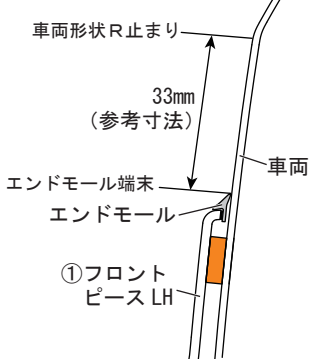
7. ①フロントピースを車両に仮当てし、④クリップA (左右各1ヶ所)、⑯クリップB (左右各2ヶ所)、車両ビス (左右各3ヶ所) で仮締めし、養生テープ等で仮固定する。

A-A 断面図

①フロントピース LH

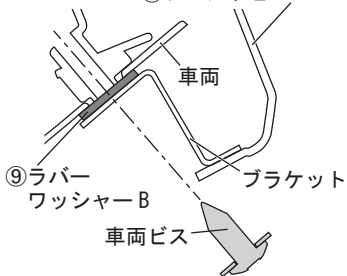


C-C 断面図

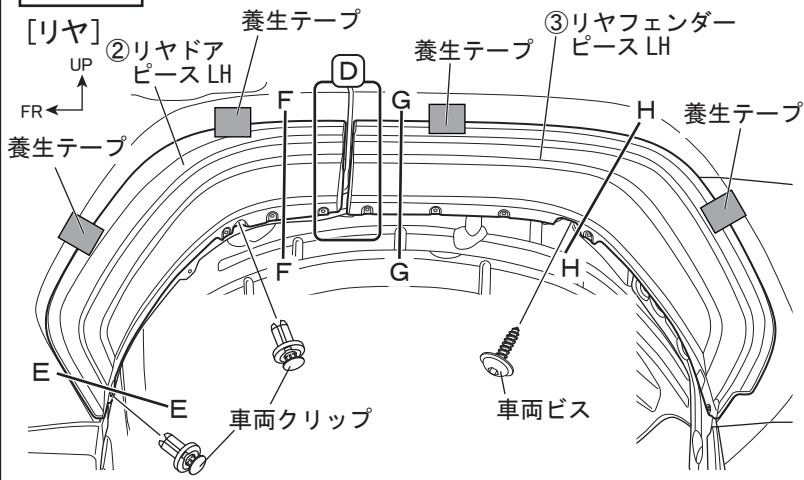


B-B 断面図

①フロントピース LH



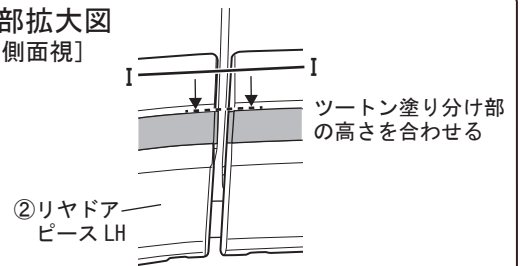
LH図示 ※RHも同様に



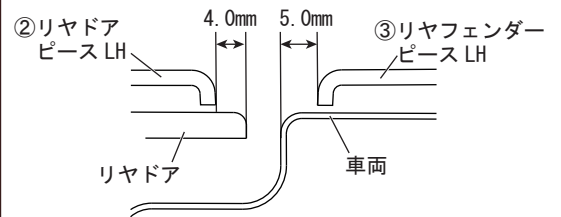
8. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを車両に仮当てし、車両クリップ(左右各2ヶ所)、車両ビス(左右1ヶ所)で仮締めし、養生テープ等で仮固定する。

D部拡大図

[側面視]

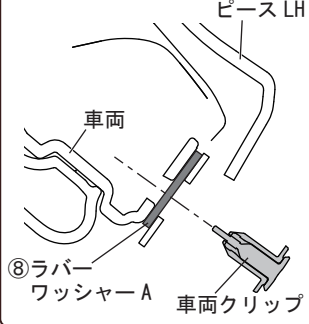


I-I断面図

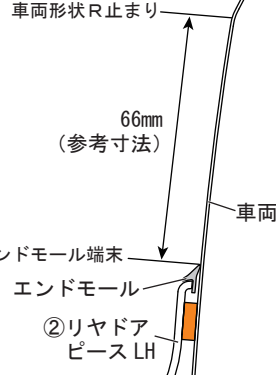


E-E断面図

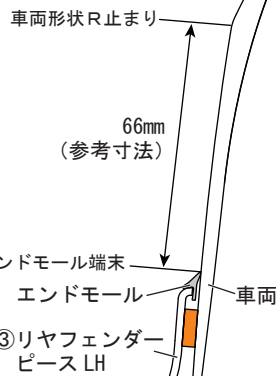
②リヤドアピース LH



F-F断面図

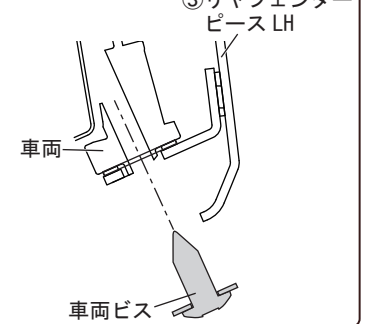


G-G断面図



H-H断面図

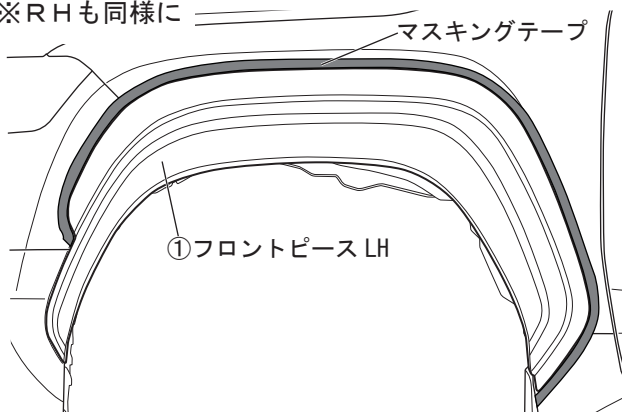
③リヤフェンダーピース LH



LH図示 ※RHも同様に

[フロント]

UP  
FR

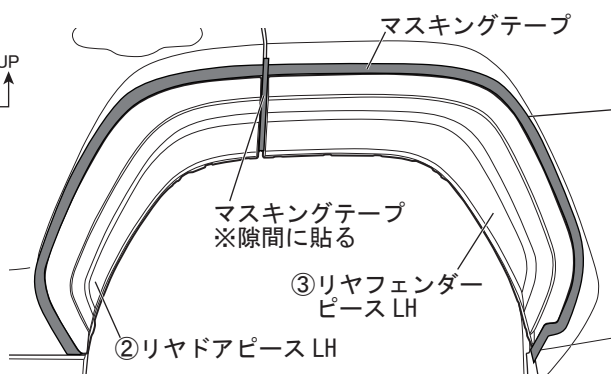


9. 左図を参照し、①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース末端(モール貼り付け部はモール上端)に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

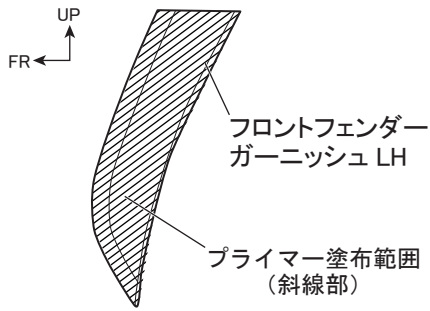
10. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを取り外す。

[リヤ]

UP  
FR



LH図示 ※RHも同様に



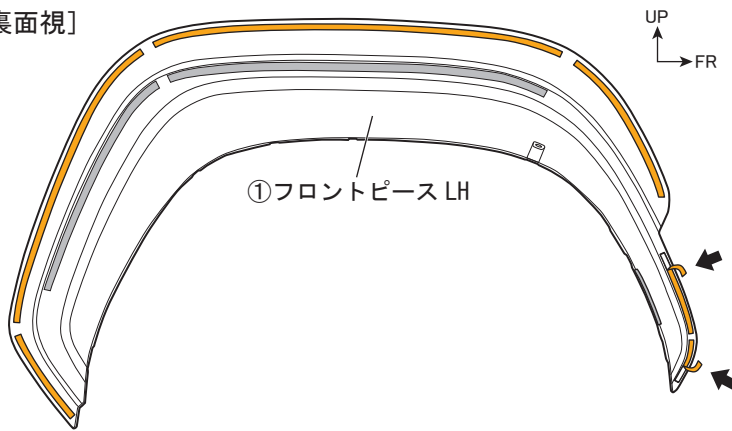
11. 車両フロントフェンダーガーニッシュの左図斜線部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、⑫PACプライマーN-200を塗布する。

👉アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。
- ・PACプライマーN-200はオーバーフェンダー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

LH図示 ※RHも同様に

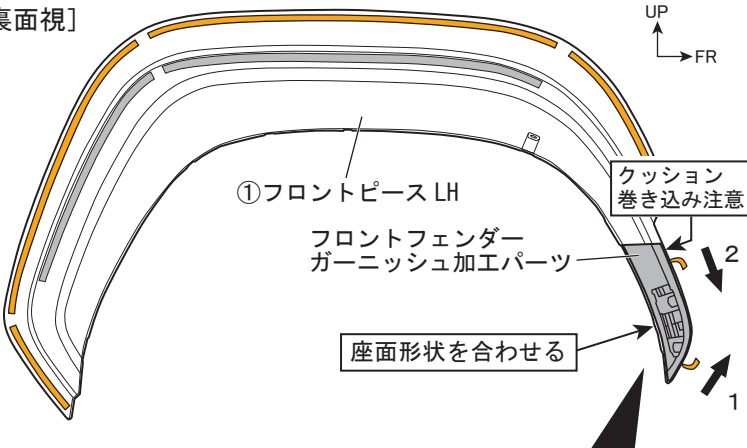
[裏面視]



12. ①フロントピースの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(左右各2ヶ所 左図矢印部)

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

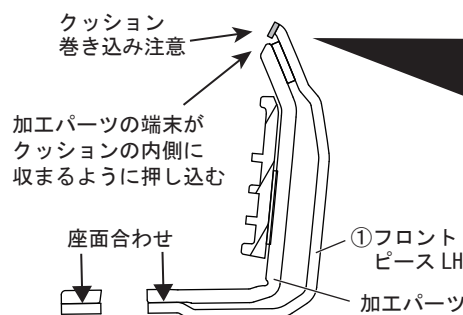
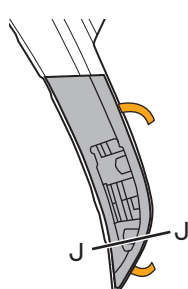


13. ①フロントピース裏側にフロントフェンダーガーニッシュの加工パーツを仮当てし、加工パーツの端末がクッションの内側に収まるように押し込み、両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

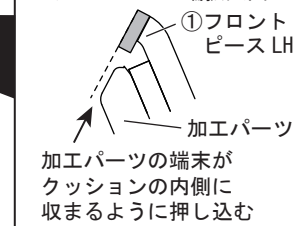
👉アドバイス

- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

J-J 断面図

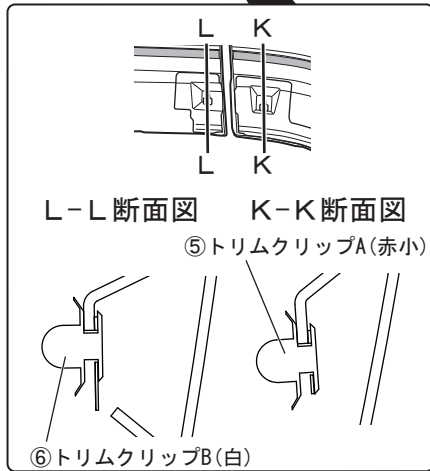
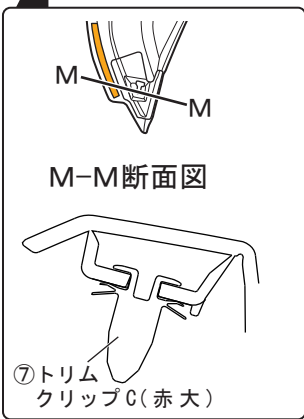
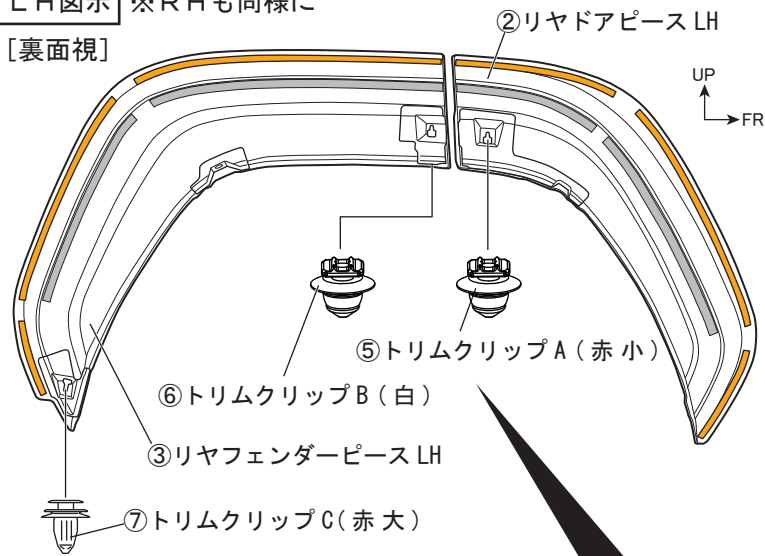


加工パーツ上端拡大図



LH図示 ※RHも同様に

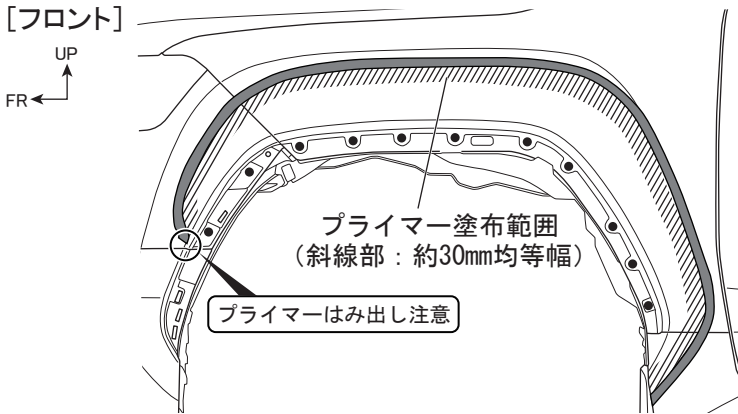
[裏面視]



14. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース裏側に⑤トリムクリップA(赤小) (左右各1ヶ所) ⑥トリムクリップB(白) (左右各1ヶ所)、⑦トリムクリップC(赤大) (左右各1ヶ所)を取り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

[フロント]

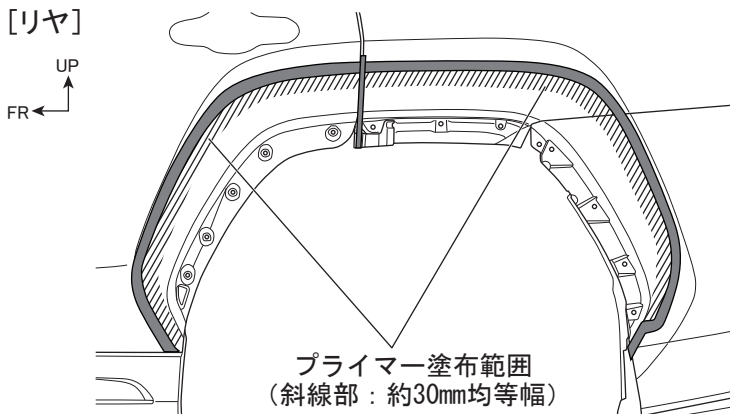


15. 車両側面の左図斜線部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、⑫PACプライマーN-200を塗布する。

アドバイス

- ・PACプライマーN-200は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

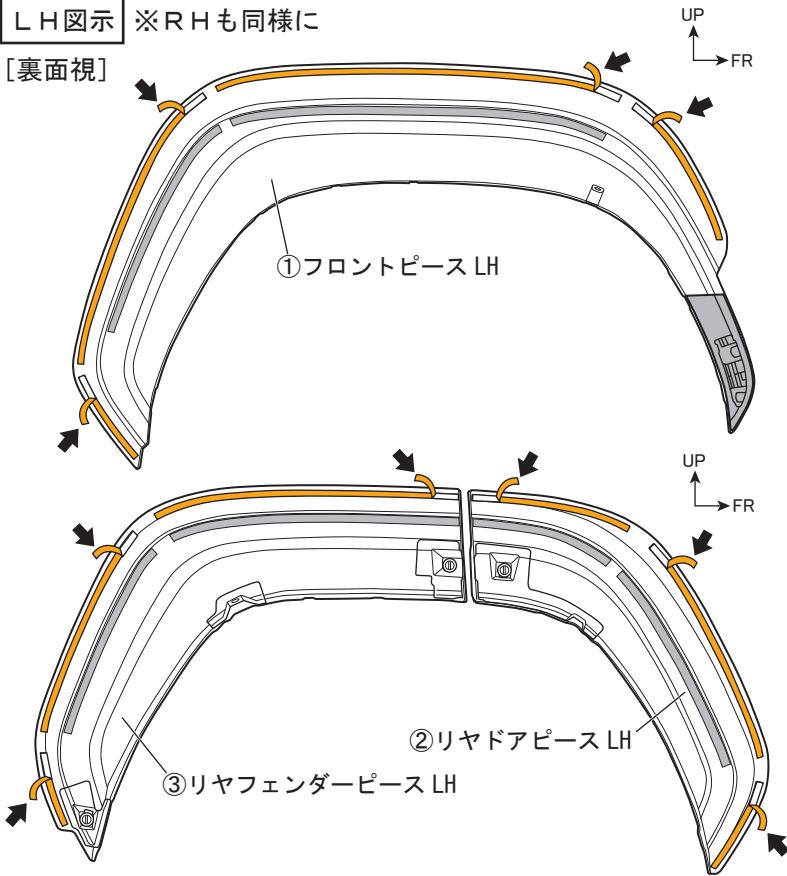
[リヤ]



16. マスキングテープを剥がす。

LH図示 ※RHも同様に

[裏面視]

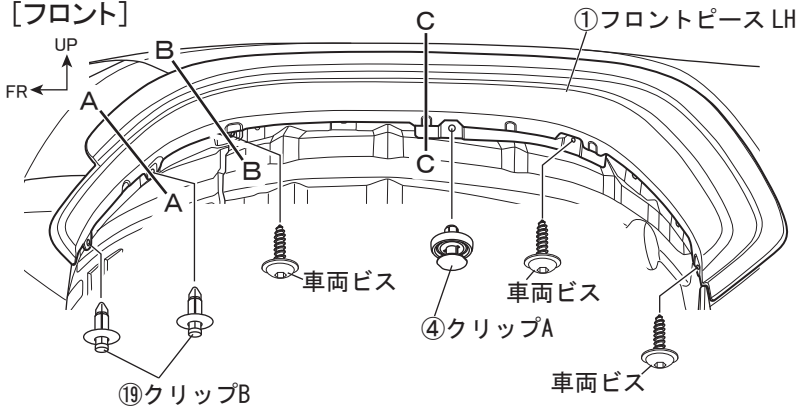


17. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。  
 (①フロントピース 左右各4ヶ所 左図矢印部)  
 (②リヤドアピース 左右各3ヶ所 左図矢印部)  
 (③リヤフェンダーピース 左右各3ヶ所 左図矢印部)

## II. 取付け

LH図示 ※RHも同様に

[フロント]

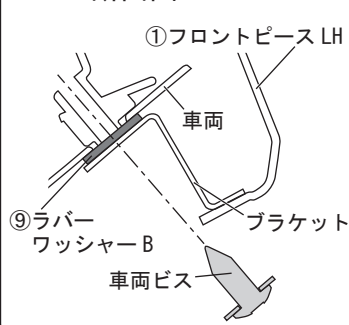


1. ①フロントピースを車両に仮当てし、④クリップA (左右各1ヶ所)、⑱クリップB (左右各2ヶ所)、車両ビス (左右各3ヶ所) で仮締めする。

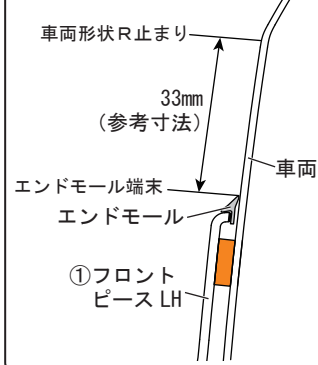
### A-A断面図



### B-B断面図

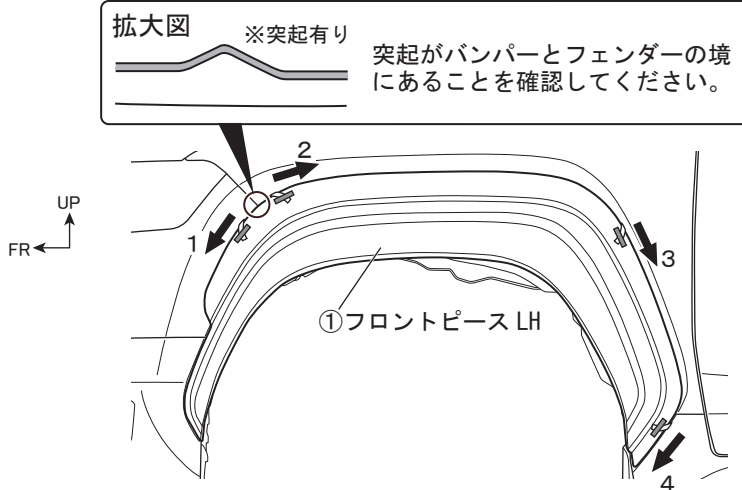


### C-C断面図



LH図示 ※RHも同様に

[フロント]



2. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

👉アドバイス

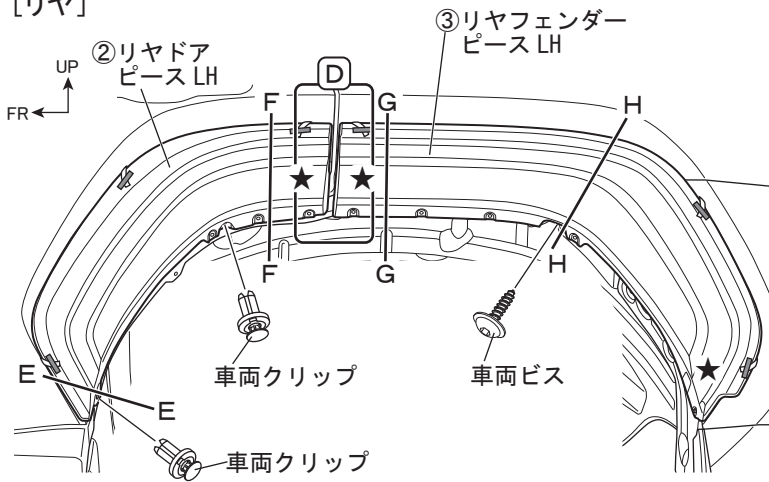
・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

👉アドバイス

・取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

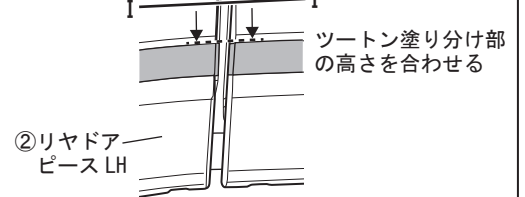
LH図示 ※RHも同様に

[リヤ]

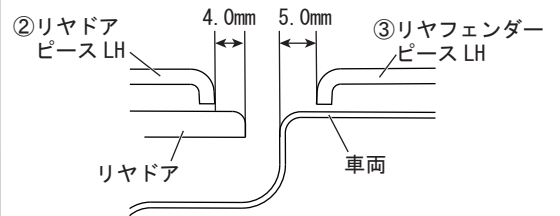


3. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを車両に仮当てし、左図★部のトリムクリップ(左右3ヶ所)を嵌合して車両クリップ(左右各2ヶ所)、車両ビス(左右1ヶ所)で仮締めする。

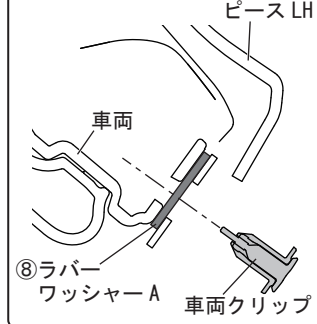
D部拡大図  
[側面視]



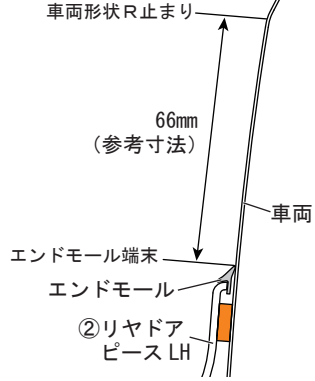
I-I断面図



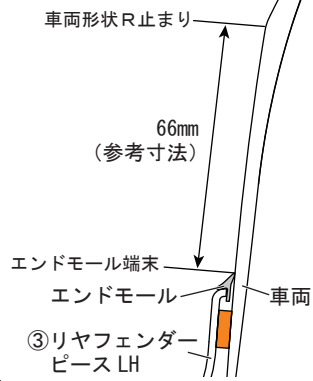
E-E断面図 ②リヤドアピース LH



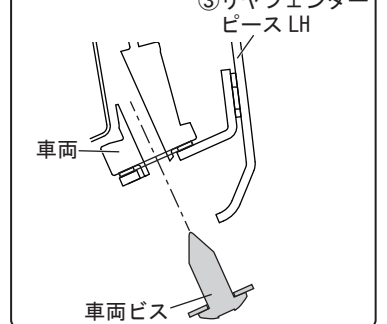
F-F断面図



G-G断面図



H-H断面図 ③リヤフェンダーピース LH

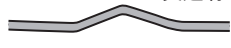


LH図示 ※RHも同様に

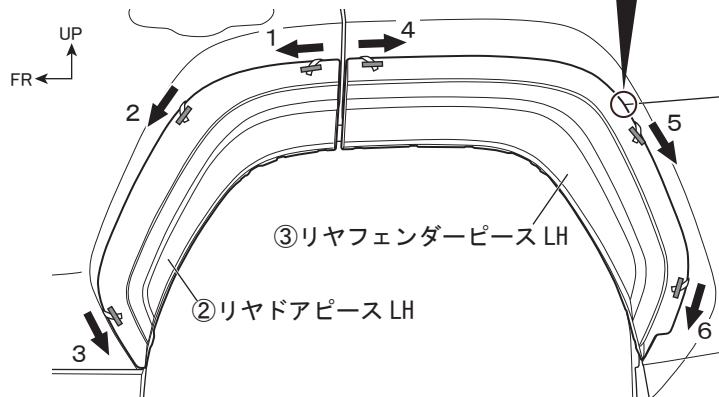
[リヤ]

拡大図

※突起有り



突起がバンパーとフェンダーの境にあることを確認してください。



4. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。



アドバイス

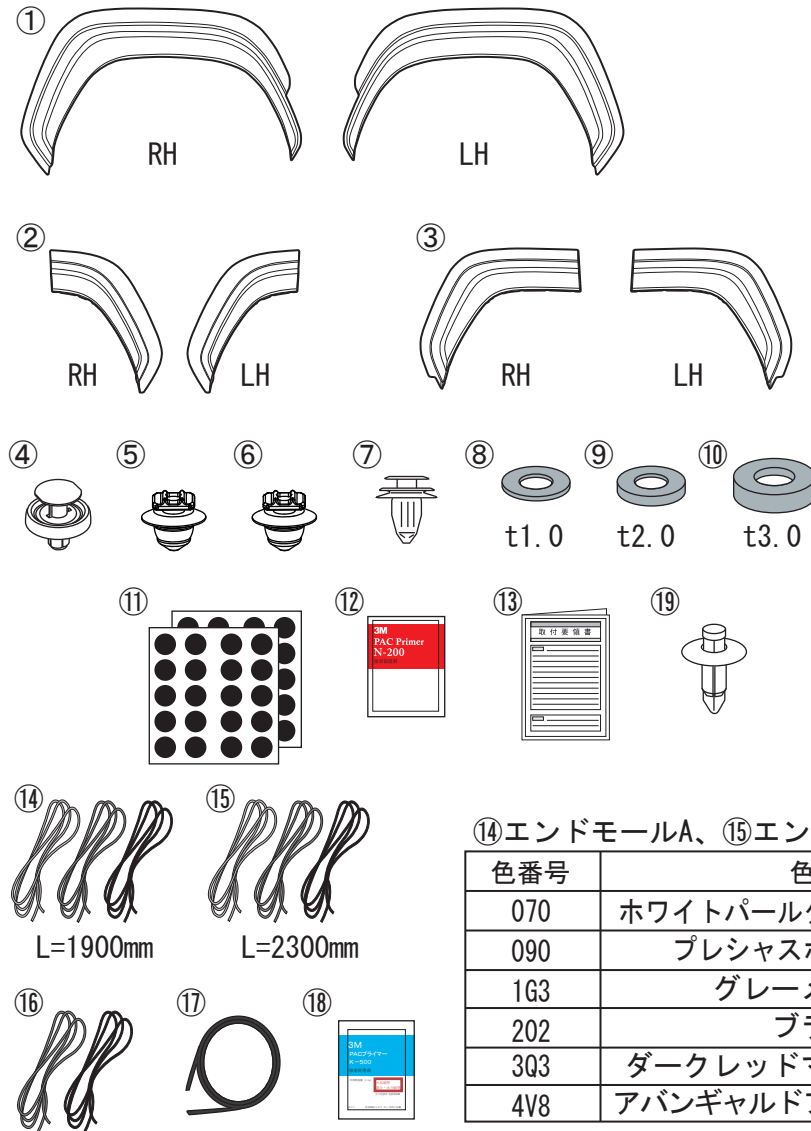
・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

5. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

6. 全ての車両ビスを本締めして取り付け作業完了。

# フェンダーガーニッシュ素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	フロントピース (RH/LH)	各1
②	リヤドアピース (RH/LH)	各1
③	リヤフェンダーピース (RH/LH)	各1
④	クリップA	4
⑤	トリムクリップA(赤小)	2
⑥	トリムクリップB(白)	2
⑦	トリムクリップC(赤大)	2
⑧	ラバーワッシャーA	2
⑨	ラバーワッシャーB	2
⑩	ラバーワッシャーC	2
⑪	保護シール	40
⑫	PACプライマーN-200	1
⑬	取付要領書	1
⑭	エンドモールA (イ型) L=1900mm	ライトグレー:3 グレー:3 ブラック:3
⑮	エンドモールB (イ型) L=2300mm	ライトグレー:1 グレー:1 ブラック:1
⑯	エンドモールC (ヨ型)	グレー:1 ブラック:1
⑰	クッション	1
⑱	PACプライマーK-500	1
⑲	クリップB	4

### ⑭エンドモールA、⑮エンドモールB、⑯エンドモールC 推奨使用色

色番号	色名称	⑭⑮モール色	⑯モール色
070	ホワイパールクリスタルシャイン	ライトグレー	グレー
090	プレシャスホワイトパール	ライトグレー	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック	ブラック
202	ブラック	ブラック	ブラック
3Q3	ダークレッドマイカメタリック	ブラック	ブラック
4V8	アバンギャルドブロンズメタリック	グレー	グレー

## フェンダーガーニッシュの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースをボディ色で塗装する。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッション、ブラケットの表面（製品外側）をマスキングする。
3. プライマー塗装を行う。（本製品の素材は>PP<です）
4. 上塗り塗装を行う。
5. 硬化

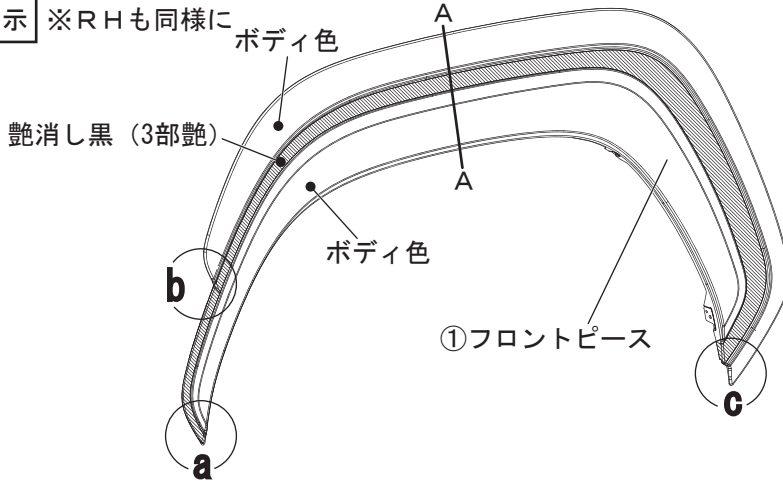
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。  
 塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず70℃以下で乾燥させてください。  
 変形しない様、形状を保持して乾燥してください。

# ツートン塗装

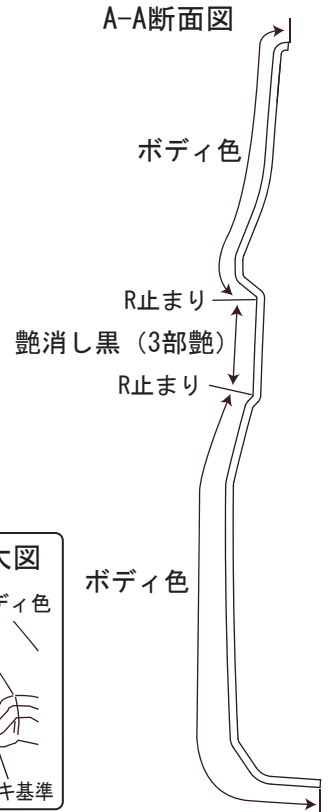
1. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースをボディ色で塗装し、下図範囲を艶消し黒（3部艶）で塗り分け塗装する。

※塗装する際にブラケットの表面（製品外側）をマスキングテープで保護し、塗料が掛からないようにしてください。

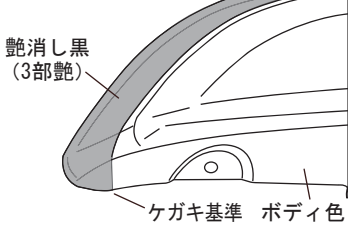
LH図示 ※RHも同様に



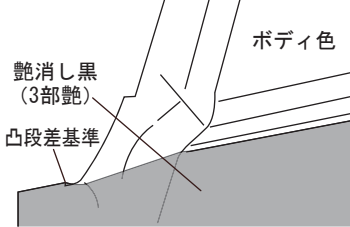
A-A断面図



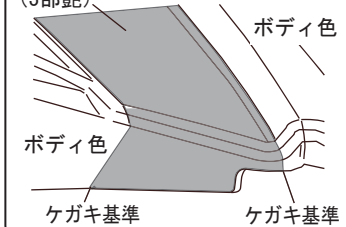
a部拡大図



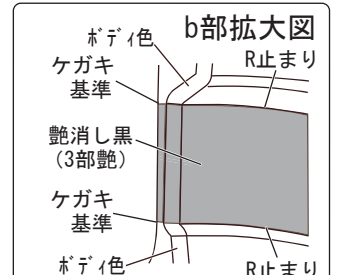
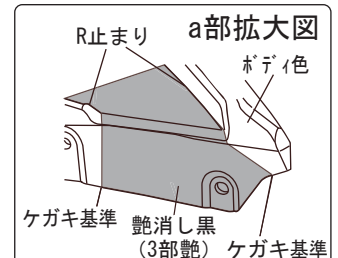
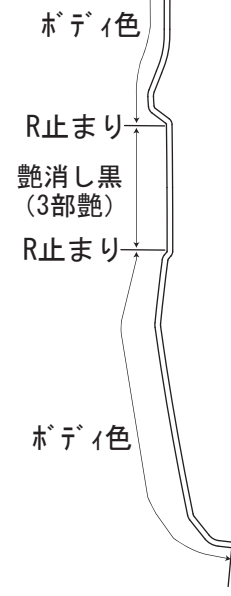
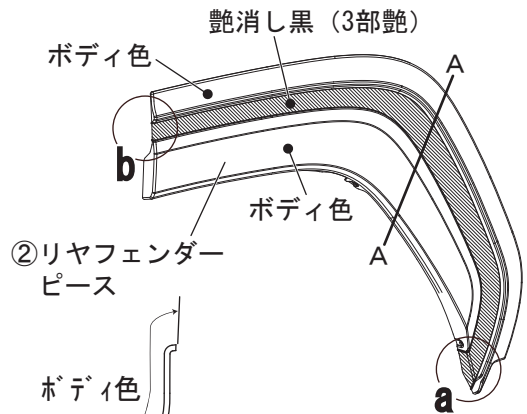
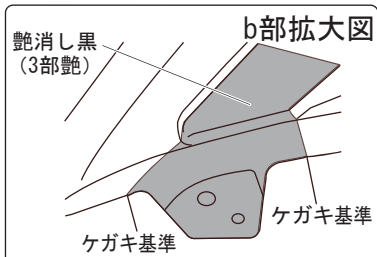
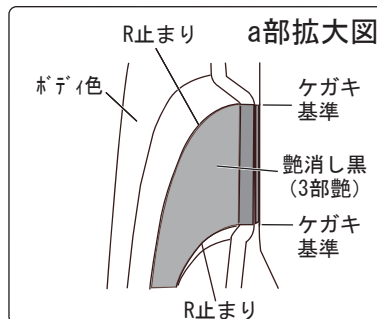
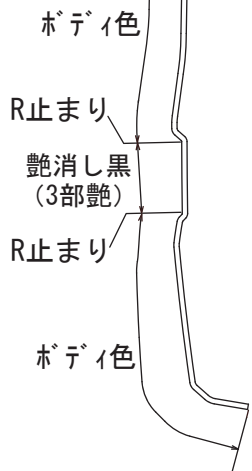
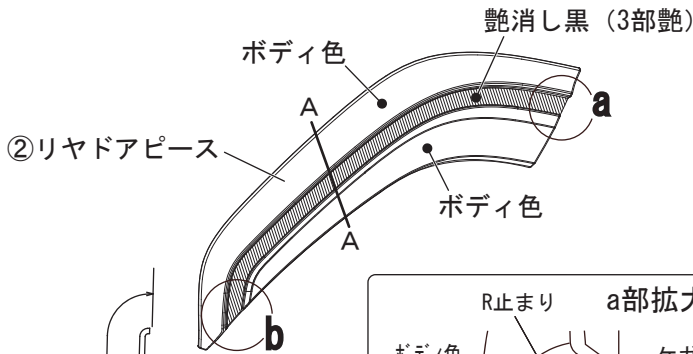
b部拡大図



c部拡大図



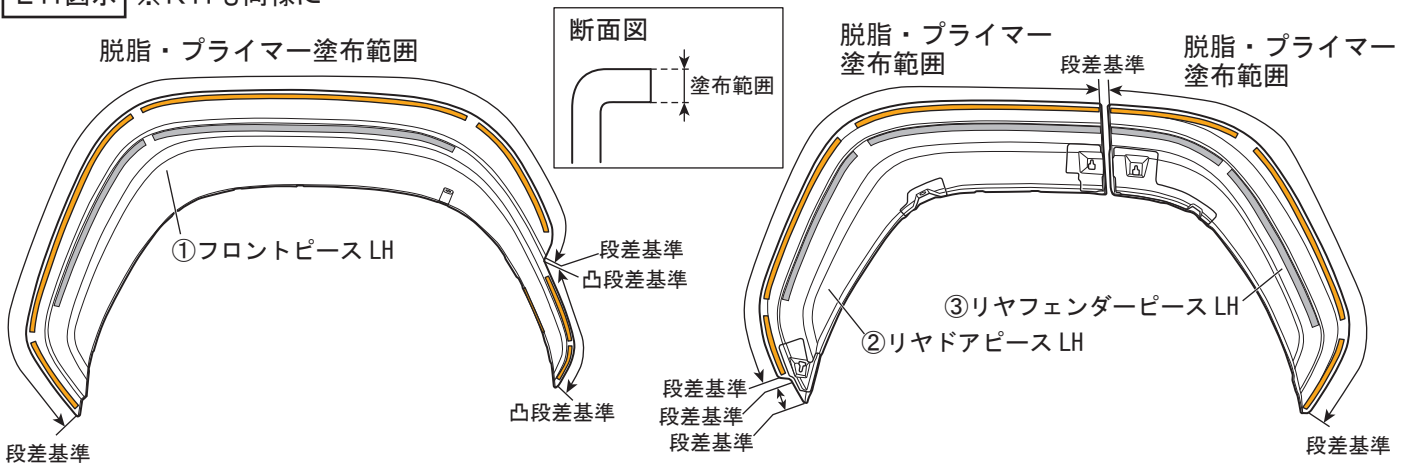
※塗装する際にブラケットの表面（製品外側）をマスキングテープで保護し、塗料が掛からないようにしてください。



## プライマーの塗布

- ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの⑭エンドモールA、⑮エンドモールB、⑯エンドモールC貼り付け部分を脱脂し、⑰PACプライマー-K-500を塗布する。
- ①フロントピースの⑰クッション貼り付け部分を脱脂する。

LH図示 ※RHも同様に



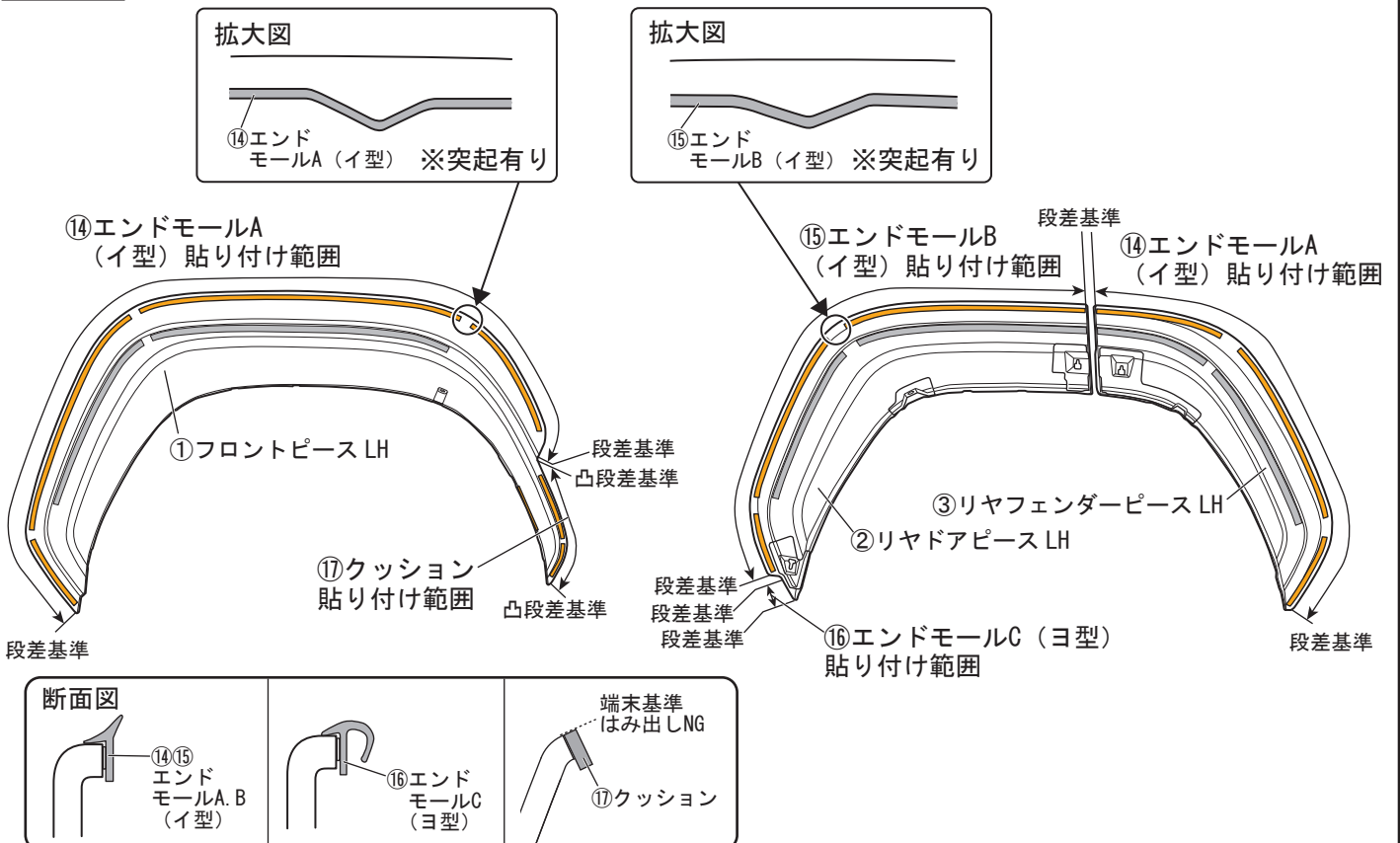
### アドバイス

- ・PACプライマー-K-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。

## エンドモールの貼り付け作業

- 下図の要領で⑭エンドモールA、⑮エンドモールB、⑯エンドモールC、⑰クッションを貼り付ける。

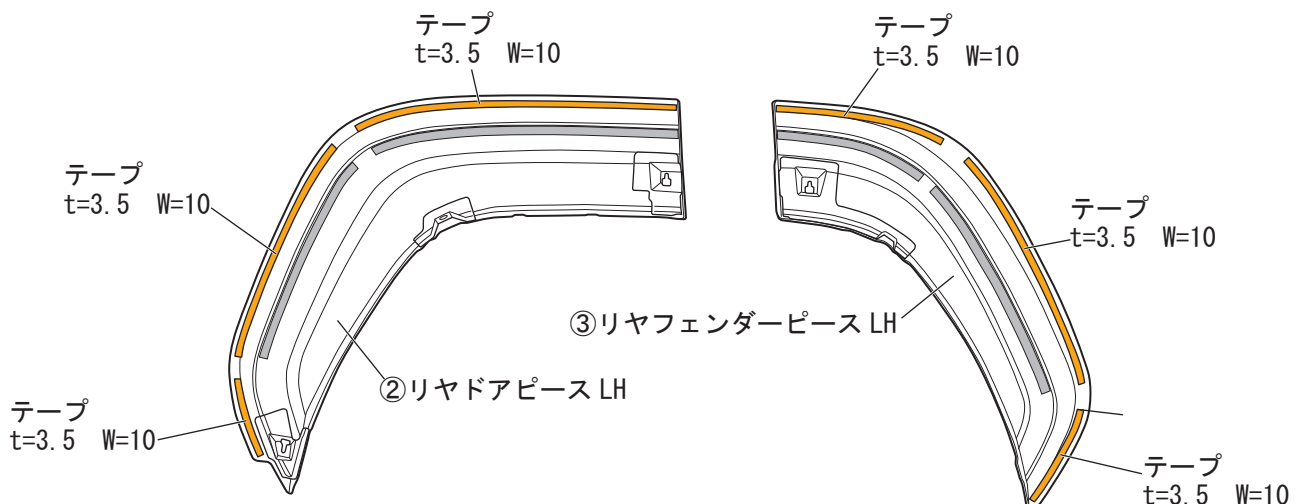
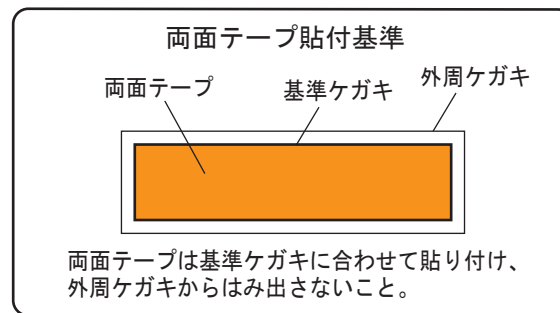
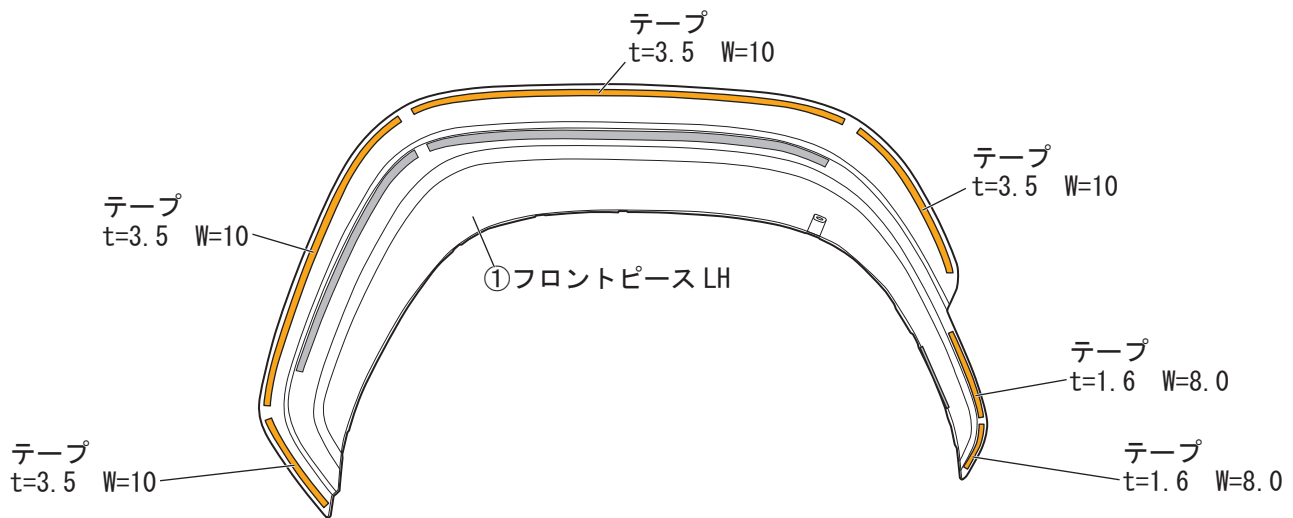
LH図示 ※RHも同様に



## 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に

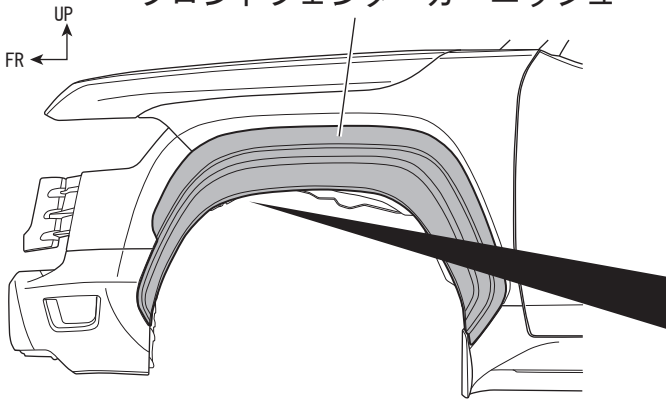


## 適用部品のご案内

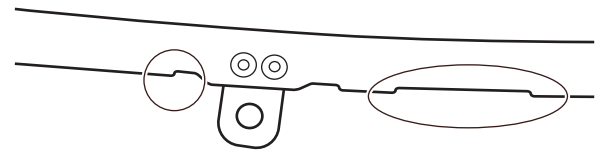
フェンダーガーニッシュの生産時期により設定部品が異なります。  
下図を確認の上、適切な部品を使用して下さい。

## [フロント] ※LH図示

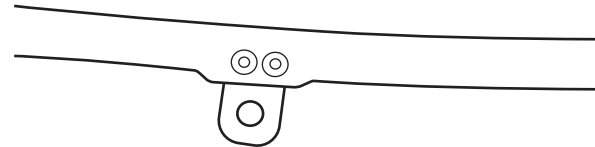
## フロントフェンダーガーニッシュ



## 拡大図



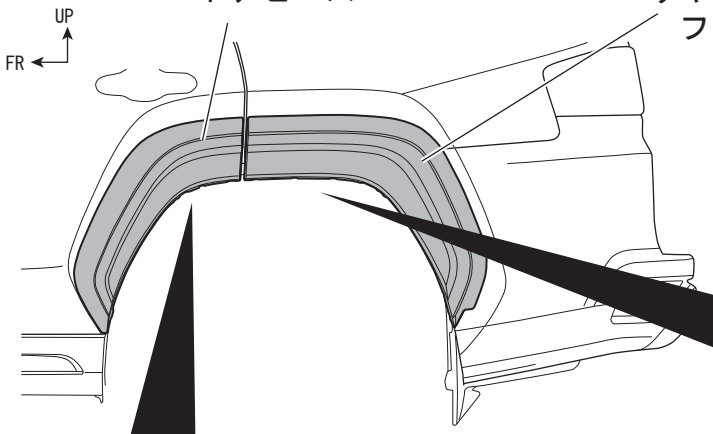
下端に段差がある場合は下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-G00



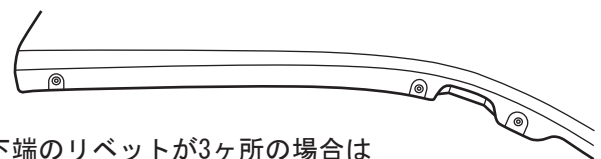
下端に段差がない場合は下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-H00

※製品端末に触れる際、手を切らないように御注意下さい。

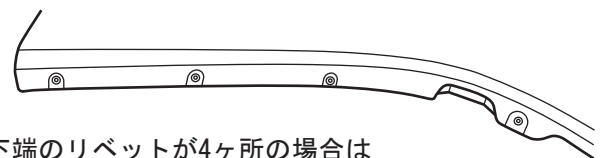
## [リヤ] ※LH図示

リヤフェンダーガーニッシュ  
ドアピースリヤフェンダーガーニッシュ  
フェンダーピース

## 拡大図

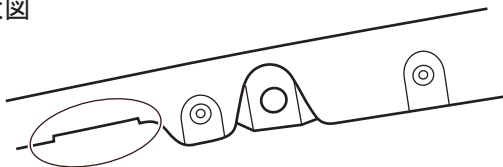


下端のリベットが3ヶ所の場合は  
下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-G00

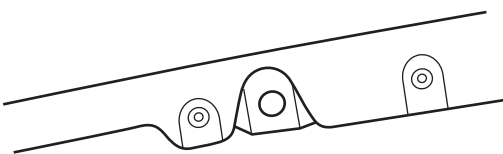


下端のリベットが4ヶ所の場合は  
下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-H00

## 拡大図



下端に段差がある場合は下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-G00



下端に段差がない場合は下記パーツセットが適用  
X-MSD80-60H04-F00、X-MSD80-60H04-H00

※製品端末に触れる際、手を切らないように御注意下さい。

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

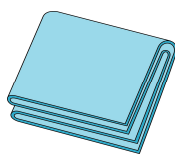


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

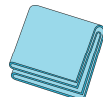
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

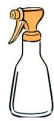


水拭き用バケツ



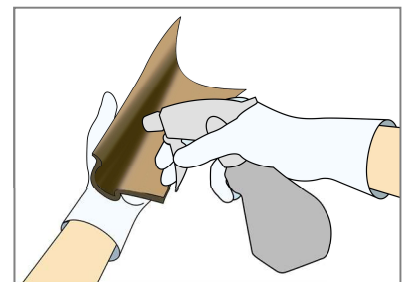
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

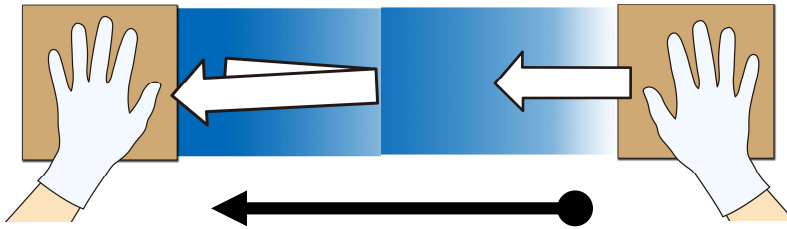
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

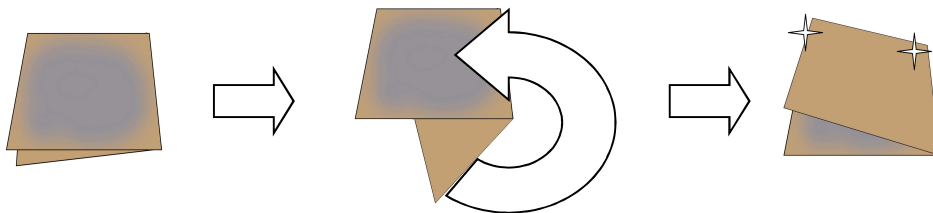
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。